

大学、研究機関、企業等の連携による地方創生に資する日本型イノベーション・エコシステムの形成

地域の成長に貢献しようとする地域大学に、事業プロデュースチームを創設し、地域内外の人材や技術を取り込みながら、地域中核企業等を巻き込んだビジネスモデルを構築していく。国と地域が一体となって、地域が持つ強みを活かした科学技術イノベーションを推進し、新産業・新事業の創出を目指すことにより、グローバルな展開も視野に入れた地方創生に資する日本型イノベーション・エコシステム※を形成する。

支援内容

地域の将来を担う人材・技術の育成・輩出を担い、地域内外の資源の結節点である地域大学に対して、以下の取組を競争的に支援。

1. 特徴ある研究資源を保有する地域の大学において、経営層のコミットの下、全国・世界規模での事業化経験を持つ人材を中心とした**事業プロデュースチーム**を創設。

事業プロデュースチームは、グローバルな展開も視野に、**技術シーズ等の掘り起こしや域外の有力なシーズ等の取り込みも行い、現場・市場の課題解決につながる事業計画を策定し、地域中核企業等へと提案。**

2. 大学等の保有する**技術シーズを磨き上げ、地域中核企業等との産学官共同研究をプロデュース**。地域における**新産業・新事業の創出**につなげる。

3. また、イノベーション促進人材の育成や学生の地域への定着を目指し、これらの活動に学生等を含めさせる**人材育成プログラム**を構築・実施。

事業イメージ

※「イノベーション・エコシステム」とは、行政、大学、研究機関、企業、金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与し、絶え間なくイノベーションが創出される、生態系システムのような環境・状態をいう。



日本型イノベーション・エコシステムの形成

【事業プロデューサー等に求められる資質、能力について】

○地域科学技術イノベーション推進委員会での議論や、有識者へのヒアリングの結果などを踏まえ、事業プロデューサー等に求められる資質、能力として、以下のようなものを想定。

【事業プロデューサーが備えるべき資質・能力】

- ◎企業における新規事業の立ち上げ又はベンチャーの創業、及び企業におけるマーケティング活動などを主導的立場で実施した経験があるなど、新事業・新産業の創出のための事業構想を策定し、その実現に向けて関係機関間の調整とマネジメントを行う能力を有すること
- ◎地域大学等の研究開発資源を核とした新事業・新産業の創出、及びその活動を通じた地域におけるイノベーション・エコシステムの形成の実現に向けて、格別の情熱を持ち、軽快なフットワークで取り組む高い意欲があること
- ◎個別の研究開発成果(プロトタイプ)の事業化に向けた、段階に応じた資金調達手段の検討、投資家などの資金調達先に対するビジネスプランの提案などを実施できること

【事業プロデュースチーム全体で満たすべき資質・能力(事業プロデューサーが保有していれば尚良い)】

- 地域大学内における調整、合意形成等を遅滞なく行える、地域の自治体、企業等との人的ネットワークがあるなど、円滑に産学官連携を推進できる資質があること(産学官連携に係る実践経験があることが望ましい)
- 事業構想の策定にあたり、ターゲットとする市場・顧客の分析・特定、当該市場・顧客視点での技術シーズ等の優位性の判断などを行うための、本事業の提案に係る特定分野における専門的知見があること
- 事業構想の実現に向けた、個別の研究開発計画に関する研究者との議論、実現可能性評価、開始・改廃を含めた進捗・管理など、研究開発活動を総括できること
- 事業構想の競争優位性を確保するための知的財産戦略の構築、それに基づく戦略的な特許等の取得、ライセンシングのパイプライン・チャンネル開発など、知的財産に係る知見を有すること
- 個別の研究開発成果(プロトタイプ)の事業化に向けた、市場でのテストマーケティング、マーケティング・チャンネルの構築など、マーケティングを実施できること
- グローバルな展開を視野に入れるとともに、海外における販路開拓についても知見を有すること